

Mémoire 2024

第29回 秋華賞(GI)



鮮やかに差し切って牝馬二冠達成 チェルヴィニア

秋晴れの淀で、極の女王が堂々と二冠目を獲得した。

桜花賞馬でオークス2着のステレンボッシュか。桜花賞は不本意な走りで大敗に終わったが、オークスで見事にリベンジを果たしたチェルヴィニアか。二強対決の構図となった秋華賞は、チェルヴィニアが1番人気、ステレンボッシュが2番人気でレースを迎えた。

ゲートが開くと、ローズSでも逃げて3着に粘ったセキトバイストが後続を離す大逃げの態勢に入る。離れた2番手に、紫苑Sで2番手からコースレコードで制したクリスマスパレード。馬群は縦長で、1,000m 57秒1は秋華賞史上最速のラップとなった。

この速い流れを、チェルヴィニアは中団の馬群で追走。C.ルメール騎手が「前とは15馬身ぐらい離れていたと思いますが、こういうペースでゴールまで行くのは難しいですから心配していませんでした」と振り返ったように、落ち着いた走りで行き合う。これをマークするように、直後にステレンボッシュが続いた。

大きなリードを保ったまま4コーナーを回ったセキトバイストに、直線で雪崩のように後続が襲いかかる。そんな中、ひときわ目を引く瞬

発力で馬群を抜けてきたのがチェルヴィニアだった。残り100mで先頭に立つと、内から懸命に追うステレンボッシュ、大外から追い込むボンドガールの2着争いを1馬身3/4後方に見ながらフィニッシュ。史上最多タイの秋華賞3勝目を飾ったルメール騎手はゴール後、右手で力強いガッツポーズを作った。

栗東に滞在して調整した桜花賞は13着と大敗。その反省を活かし、今回は美浦で調整してからへの輸送で臨んだ木村哲也調教師は、当日の愛馬の様子を見て「すごくうまくいっていると思いました」と、その状態に自信を持っていたとコメント。まさに渾身の仕上げで掴んだ二冠目のタイトルとなった。

第29回秋華賞(GI)

10/13 京都競馬場 2,000m(芝・右) 晴・良 15頭									
着順	馬名	性別	年齢	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位	
1	チェルヴィニア	牝3	55	C.ルメール	木村 哲也	1:57.1	①	⑧⑧⑧⑦	
2	ボンドガール	牝3	55	武 豊	手塚 貴久	1 3/4	⑤	⑫⑫⑬⑬	
3	ステレンボッシュ	牝3	55	戸崎 圭太	国枝 栄	1/2	②	⑩⑩⑪⑩	
4	ラヴァンダ	牝3	55	岩田 望来	中村 直也	3/4	⑬	③④④④	
5	クリスマスパレード	牝3	55	石川裕紀人	加藤士津八	ハナ	⑧	②②②②	

チェルヴィニア
栄光の蹄跡

5

ハービンジャー 115 L
チェルヴィニア
チェッキーノ(キングカメハメハ)
2021.2.3 生 安平・ノーザンファーム



牝3
鹿
55
C. ルメール
1979.5.20生 B型
南サンデーレーシング
木村 哲也(美浦)

2024.5.19 東京
オークスGI
18ト 2人 1(115)
55⁺。C. ルメール
芝2400良 2:24.0

2024.4.7 阪神
桜花賞GI
18ト 4人 13(99)
55⁺。B. ムルザバエフ
芝1600良 1:33.4

2023.10.28 東京
アルテミスSGⅢ
10ト 1人 1(109)
55⁺。C. ルメール
芝1600良 1:33.6